

平成21年4月1日

平成21年度一般会計本予算編成方針

下関市長 中尾友昭

我が国の経済は、100年に一度と言われる世界的な経済金融危機の影響を受け、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の急速な悪化に直面しており、本市においても、法人市民税をはじめとした市税の大幅な減収は避けられず、これまで以上に厳しい財政運営を強いられることとなります。

しかしながら、このような状況にある今こそ、市民生活の不安を解消し、地域雇用の維持を図るための生活対策に積極的に取り組むとともに、将来の活力あるまちづくりにつながる事業を着実に実施していくことが、行政の責務であると考えています。

また、本市が抱える様々な政策課題に対しても、「市民本位の市政」を基本理念として、限られた財源の中でより効率的で質の高い施策展開が図れるよう、事業内容、実施手法及び事業成果について、市民を起点とし、将来を見据えた上で今一度の精査や見直しを行う必要があります。

については、財政規律を堅持し、財政の健全性を確保するために最大限の努力を傾注しつつ、「市民が幸せで元気なまちづくり」を実現するため、各部局長の強力なマネジメントの下、既存の慣習にとらわれず、創意工夫を凝らした予算編成に取り組むよう強くお願いします。